

和爾町役員等説明会会議録

平成27年3月27日 午後 時～ 時 分 場所：

市側出席者：並河市長、山中公室長、井上課長

資料を市長が説明

和爾町：地元東の方、ナガス池の上、隣接地には和爾自治会の方も住んでいる厳しい所、突然で驚いている。はっきり言って影響のある地域だと思う。土地的には無いですけど、水とか、一番隣接というのは和爾と思います、櫓も。こういう施設をこういう形で考えていると、市長の話だが案が6カ所あったとの事。

天理市：先ず、田原本町と天理の境の武蔵の所、田原本町の炉が直ぐに操業停止状態だった。地権者と早急に天理とやりたいという事務レベルですが打診があって、天理市は平成12年に炉を新設したばかりで一緒に出来ない。場所的に今のクリーンセンターから南へ行った所、あの辺りが最適ではないかと、それが1つ目で。次はグリーンテクノ用地跡です。写真等撮りに行ったりしたが、かなりの造成費用が掛かると、市では厳しいと、造成費用には補助金等使えないので、その辺市の持ち出しがかなり掛かる。同じ福住で福祉センターの近くでもあって、その真横に住居が何軒もあり、又運用面でも厳しい。特に冬場、雪が降って道が凍結したり、今年も1回あった。福住の方に上がれない日があり、ごみの回収が出来ない日がありました。そういう事で、福住に1日ごみの回収が出来てない日があります。そういう事なので、福住方面はパッカー車の運用面で厳しいと、又この周辺に天理教の土地が2つあり、そこも検討したが、白川池の上にあるというのと自然公園の中で、法律上クリーンセンターは出来ない。それと他市との合同で郡山市は、大きな長寿命化の50億円以上の修繕される、郡山市は、今の隣の大きな土地が空いていて、一緒に出来ないかとアタックしたが、そこには灰が埋まっている関係で、その上には法律上、物が建てられないという事で断念した経緯がある。それと安堵町の所も広域化を見据えて、安堵の現施設の所の周辺には、田が非常に多くて、そこに出来ないか検討している時に、昨年大雨が降り、あの辺り全部水が浸いた。クリーンセンター造るに当たり災害の拠点にしているという話もある中で、道路が冠水してしまったら、そこに辿り着く事が出来ないという事で断念した。以上が環境クリーンセンターで検討した場所です。その辺が順々に潰れていき最終的に地権者の理解が得られそうなのは、広域化の点等も考えると、仮に他が全部理解頂いたとしても、最も条件に恵まれているのが、ここであるという結論に達した次第です。それと今のクリーンセンターの東側を買い増ししようという事もあったんですが、小島町に100m範囲に迫るので、その辺が厳しかったと、もう出て行けと言われる中での買い増しは厳しかった。田原本の方からも従前、長寿命化ですら嫌というような話もずっと来ている。非常に複雑な話になる中で、長寿命化でも大変な中、買い足してしようというような事は進めそうに無い。

和爾町：こういう話そのものが前の時から延命という、いわゆる有料化する事によって、炉への負担軽減と、そこから金見出そうと、こういう話しだったと思うが。しかし市は何かする時は、議会にも全体協議会で話したという事ですけども、議員さん、広報誌であるとか、そういった話というのが、突然降ってわいた話に思う。議会とかに話したという事ですが、それは、いつで、どうい

う状況でここまで来ているのか。

天理市：まずご理解頂きたいのは、いつでも初めて聞いたら、えっと驚かれます。これが、我々がいきなり広報誌にバーンと乗せていったら、それこそ初めに説明するのは地元じゃないのかというような話になる中で、一番影響を受ける皆さんの所から順を追って説明をしていこうかと考えております。そのプロセスが本日のこの説明であるというのを是非共ご理解頂きたい。

和爾町：施設の性格上、嫌悪施設ですから、しかし当然議会で話されて、議論されて来たと思います。ただ広報誌にまでバーンと広げて、あと混乱だけ起こすような事、戦略上難しいと思います。けど、あまりにも何処からもこんな話聞こえない、これまた進め方のテクニックと思いますけどね。

天理市：本当に出来るのかどうか、影響なりうまく検証も出来ない、出来る見込みも無い状況で、各方面にダーンと当たって行って話が起き上がりますと、本当に收拾がつかなく・・・。

和爾町：それだけ難しい施設です。市もそう思われるように、我々としても早い段階で情報は欲しい。しかし、市はそういう施設やから周りからうまくしながら、混乱起こらないような方法しますわ。それは私達からしたら、こういう土地どうですか、ここが決定みたいな言い方の中で、メリットばかり、金の話にしる、ルートの話にしる、環境の話にしる、そういう事仰っているけど、もう決めた話、土地貸したると天理教が貸すという話、後は周辺対策だけの話や。天理教は土地あちこち持っていると思う。白川周辺には沢山持っていると思います。朝和の方にも持っている。どれだけか大きさも知らないが。

天理市：柚之内にもあるし、各方面ございます。

和爾町：天理教も目的あって購入されたと思う。ここも目的あって購入されたと思う、当時としては。それだけの構想を持って取得されたと思う。それが容易くそんな事出来るのなら、朝和の方へ行って下さいと、そっちの方へ何とかならないのか。ルートの問題もあるけど。

天理市：ここはインターが間近な所であり、又周辺の通過通行の所で、ご迷惑が一番掛からない所はどこか、ただ一番掛からないと言ったら、もっともっと山の方へ行かんかいという話ですけども、本当に山の中になってしまうと、今後造成で手が出ない、自然公園で法的に出来ないという、丁度ここがバランスとしては合う所です。

和爾町：市の最高の場という事ですね。火葬場付近はどうなるのかなー。

天理市：火葬場の上手の所は、どうなのかという事もあったんですが、民有地も含まれているだけでなく、斜面になっていて隣地を切り開いた上で、平さないといけないという所があり、調整区域と宅造規制区域、風致地区、自然公園法による規制が絡んでいまして・・・。

和爾町：道から東の方ですか。

天理市：道の両方が・・・なっていて、状況としてはほぼ変わらない。ここを渡った所が駐車場に活用されていた所がある為ですが、今現在、図1の所で、既に平らに成っているという点と、資料2の航空写真を見て下さい、本部としてもその前の所にも、非常に大きなグラウンド持っています。ここは檜町の敷地ですが、ここは年祭活用、その他一切認めないという中でここであればと、我々が窮状を訴え、何とかこの場所を確保出来なければ、一度に新設をやって、クリーンセンターを建設するという所がないですという事で、無理に無理を言って、うなずいて頂いた状況です。

和爾町：この用地は全部天理教ですか。池は檜と違いますか。

天理市：池は檜町です。

和爾町：池除いた他は、天理教の土地ですか。

天理市：道路沿いの一部が民有地、2筆で30坪120㎡位。登記簿上ですので、又法務局で確認します。道に含まれている所も多いと思うので、仮にそうだとした場合、十分な敷地面積が天理教の所だけであるという事。

和爾町：これ19,000㎡この上の部分ですか。

天理市：点線で囲まれている部分、高台の部分です。

和爾町：それが12,000㎡と。

天理市：全体として27,000㎡位です。

和爾町：今の嘉幡は。

天理市：あそこで12,000㎡位です。

和爾町：あこには、どんな施設があるのか。

天理市：焼却施設、破碎施設と言って不燃や粗大ごみを潰す機械、それとビン、かんの選別施設、ストックヤード、破碎から出た金属とビンを置く所。それと、し尿処理施設。そこは、誤解しないようにして頂きたいですが、今回この場所に、し尿処理施設を持つてくるという事はございません。それと後は、パッカー車とかの駐車場関係のものがああります。

和爾町：土地というのは、天理教から買うのか。

天理市：お借りします。

和爾町：市が借りるという事ですね。

天理市：市というか、組む市町村で事務組合を組み、そちらで借りる。

和爾町：事務組合が借りるという事ですね。普通は、買取するのと違うのか。

天理市：買取でもいいんですが、それは地権者のご意向等も勘案して、今回は借りるというような形です。買取に捕らわれなくてもいいと。御所市と五條市と組まれる所も、賃借となっています。地権者の合意が、買取まで行きますとかなり厳しい所もあります。

和爾町：市民の税金で借料払うんですね。

天理市：買う時もタダではございません。他の所で買ったりする事考えますと、本部は土地転がして儲けようという意図では全くありません。土地の点では、市民の皆さんにご負担をお掛けする所は、限りなく最小限、買うとなると、遙かにそれを超える事になります。

和爾町：資料5この施設の工事関係について、業者の事も2、3、生駒、御所とかの業者知っていますので、その現状は、ある程度理解しているんですが、そこで資料5のこの4ルート、1番のルート、他のルート、この村にあまり関係無いと思うんですけど。1番のルートに上がって来るのに、蔵之庄のパチンコ屋の所から上がると思うけども、白川橋からずっと真っ直ぐ上がって、和爾の中を通り抜けて行くという、そういうのもあるかなと思うが、その点どういった所で、どのような教育をして、そして、もしそれが守れなかったら、どういうふうな罰則が設けられるのか。

天理市：業者と契約の時、ルートも設定した上でやる事になるので、何か違反行為があった場合は、重大性に従って、当然契約解除というところまで行こうかと思えます。

和爾町：直営というか職員でやられる、パッカー車運転している方、色々あると思うんですけど、業者と職員との区別は、どの位の割合ですか。

天理市：天理市は、ずっと委託業者がやっております、今般は全て委託業者です。

和爾町：委託業者、3社程あるんですが、収集の所へ行っても非常に態度がいいんです。私が行ってもご苦労様ですと言って、向こうから声をかけてくれるような業者なんですね。非常に規律正しくしておられるのと思えます。天理市は全ての方が業者ですか。

天理市：はい、そうです。

和爾町：直営、委託業者の方は、市で指導できると思えます。しかし一般廃棄物の中でも、事業系のごみ、これの持ち込み、これはどうなりますか。

天理市：直営業者が天理市へ持ち込みます。もし広域化した場合は、それぞれの市町村にストックヤード的な物を積替施設を造ってもらって、その市の車で持って来てもらいます。そこは、組合組む時条件設定をしっかりと整理していくという事です。

和爾町：まだ具体的にになって来ないけども、職業差別とかそういうのではなく、行儀の悪い人多い訳です。そういう事、充分起こり得る。それで村の中通る、明らかに。一般の人の持ち込み、どういう構成の市町村になるのか分からないが、規模構成市町村が増えても、2から3倍の車で行ける。それは直営の話や。それ以外の話いうたら事業系のごみ。それに一部事務組合作ったら、そこからの、又それも出てくる。

天理市：持ち込みは、何処まで認めるか、それは条件設定です。

和爾町：天理市はいいよと、条件厳しくしたらいい話かもしれないが、飛びついてくるでしょう。他の市町村は、建てるのにアップアップしている中で、厳しい条件出しても乗ってくるでしょう。広域というのは県の指導ですね。

天理市：指導というか、基本にごみの処理は、基礎自治体がやるとなっているので、それぞれの意志でやります。ただ、県は本来、直接の当事者では無いですが、奈良県は非常に非効率にやっているんで、各市町村の財政の状況も圧迫してくるという事から、奈良県全体からすれば、極力まとめていくように一緒にやっていく、あるいは周辺関連に地元の為になるような物があれば、それは考えていくというような事です。

和爾町：区長会の時に、仮にという話で言っていた西の方の市町村、斑鳩であるとか、北葛城郡の話、あそこはかなり困っていると思います。飛びついてくると思います。自分で造らなくていいから、金さえ出したらいいわけやから、それだけ立派な金の話、ルートの話、色んな事考えてここが最適やと、金もいらんし、地権者との交渉もいらんし、だからメリットも多いという事です。しかし、施設については、環境調査等色々書いてある、東京とかやったら、町の真ん中に工場ある訳ですから。金はあるかもしれないが、そこまで自信持っているんだったら町のど真ん中に建ててもいいのでは無いか、金の話は別にして。

天理市：それは、取得が出来るかどうかというところも・・・。

和爾町：時間掛かるでしょう。

天理市：道路一つとってみても、途絶えている道路はいっぱいあります。北大路なんかも、みっともない限りです。そこからすると、時間が掛かってしまうと、私もなって実際に長寿命化どれだけ掛かると数字見て驚愕したが、非効率な形ででも43億払わざるを得ない状況に直面しますと、今一発で建てられる可能性があり、かつ天理市の負担を減らせるという事であれば、何とか実現していきたいし、又ごみはどうしても出る状況で、どこかで処理しないと基礎自治体として一番大事

な仕事でございますので、ご理解頂きたいとお願いします。

和爾町：ごみの焼却で、今の場所が老朽化したと、必要なのは分かるがなぜ白川のここだと。天理市が誘致するという事で、国際芸術村のような物が来るのなら私達も大賛成だが、なぜ火葬場も近いし、ごみ処理場がここへ来るねん。そしたらこの辺全体の地価も将来、和爾も換地終わってから工場とか誘致しようと思ってもなかなか。市長が町の真ん中でも出来ると言っていますが、条件面から家建てようと思ったら、地価は全体的に下がるんじゃないかなと。この交通面見ても4ルートあって、確かに場所的には、いい場所かも知れないが、今のごみの焼却場が3倍になれば、経費的に安くなりますが、それだけ交通量も増え、中には直接持ってくる、和爾の狭い道をどんどん。市の方には、この4ルートになるが、一般の方は周りの狭い道を通って来るんじゃないか。

天理市：事業1日当たり70台。現在の道路を通る数からした時、1日70台がどうなのかという事と、ここは元々天理教の100年祭があった関係で非常に考えられないようなインフラが整備されている。本来の交通量にして言えば、名阪にこんな陸橋が架かっている事自体あり得ない。インフラ整備自体も交通量からすれば169号より、こちらの方がしっかりしているくらいです。今後公共の立場で、立派な道路整備をしないといけないという状況で、ほとんど天大の学生が走ったりとか、奈良の抜け道になっているような状況でしかない。何故か異様に整っていた場所でございます。

和爾町：インフラが整備されていると、一番の農免道路ですね。最近車が増えています。何回か事故も起きています。ましてこれが出来て他市町村から来るとなったら、交通量は10分に1台と仰いますけど、それ以外の車もかなり増えるだろう。

天理市：渋滞という車の数は、おそらく今もある程度の時間でも通っている数であろうかなと。

和爾町：資料5の市のごみ収集台数、市の今の台数。

天理市：今のパッカー車、少し小さいので、大きなパッカーに乗り換えて、この台数。

和爾町：4ルートでこの台数ですか。

天理市：はい、50台です。

和爾町：広域になってくると、ここに他の車入ってくるんですか。

天理市：広域の車というのは、インターからになりますので、ここより北の所に増設されない。

和爾町：みんな心配されているのは、和爾の中を通るとか、一般の人も、その辺の想定も考えて欲しい。

天理市：一般車両で、今の持ち込み台数で1日で80台程度であると、さすがにどんなに少ない交通量の道でも1日に何百台も通る訳でも、全く地形を変えてしまう、車が殺到してと、そのような状況

では無かろうと。

和爾町：市長、ここら穏やかな所ですねん、静かで。そこに時代の流れというかも知れないが、そういう地域です。だからうちの村、天元、村見えないんですわ。情緒的な話が分からないが、西には積水の工場が壁になって、後ろには墓、共同墓地、これは民間やけどね、天元辺りでなかったらうちの村見えないような、閉ざされたような感じ、尚更、且つ高塚公園も物凄くいい構想出てきました。市が示されました所が古墳だったのか、テニスコートも出来る、何かも出来ると、かなり良くなるかと思ったら、いつの間にか、カビ生えたような公園、無いよりましです。あれもかなりの良い構想やった。示されたのは市からだった。避難所にもなると思いますけど。そういう情緒的に何か、壁あって囲まれて、尚且つ橋渡ったら火葬場があるし、そこへ、また焼却場出来る。ごみと墓に囲まれて、そりゃ、理路整然と数学的に色々仰るけども、そういう穏やかな村ですわ。ここへ建てられますの、用途は何ですか。

天理市：市街化区域になります。調整でも無いです。住居区域です。ごみ処理施設は都市計画決定というのをしますの、用途地域には基本的に関係ない。

和爾町：同意はいりませんの。地元同意というか、周辺同意というか。

天理市：法律上はいらないですが、市の市政のあり方として、いらないから説明もしない、ご懸念があっても無視する訳にはいかないの、きちんとお話し合いを重ねていく中で、お湯だったり、電気だったり、周りの所を少しでもいい雰囲気にしていくにはどうしていったらいいのか、今後しっかりご相談していけたらなと思っている。今、県と市の間で連携協定も結んでいる中で、こういう施設を造っていき、周りの事を、県も一緒に対応していこうというのも、追加項目として上げていこうと、知事も県全体にとっても大切な事だからというふうにも言っている。

和爾町：基本的に何もいらんという事ですわなー。

天理市：環境影響評価というのをきちっとしないといけないので、それに4年間費やします。そこでどう駄目という可能性も・・・。

和爾町：環境調査は何処まで。

天理市：大気、悪臭、振動、騒音、水質、生態系、どういう動植物があるかとか、森にどういう鳥がいるかという事まで調査します。

和爾町：施設のどの辺の距離までですか。

天理市：大気については、県の指針について影響及ぼす範囲としか書いてないんです。今後、専門業者を選定し、煙突の高さ、例えば岩屋から風が吹いてくると、何処まで煤塵が飛ぶかという所を、専門業者にモニタリングしてもらって、範囲を決めていくと、方法の手順から市民へ公開してい

くので、4年の歳月が掛かります。それが基準に適合しなければ、その時は法的に建てられない。

和爾町：周辺の地域、距離的な制限無いわけですね。

天理市：環境面ですので、道義的な部分と法的な部分として、その法的に言えば、無視していいのかと言われれば辛いですが。

和爾町：法的に何もなかったら。

天理市：そういう事ではないが、この所は既に造成もしてありますので。例えば、グリーンテクノの後とかの土地に、今ソーラーをやっていますが、あそこにも希少植物があるとか、色んな開発の時にお話を地元の方ともさせていただきました。

和爾町：迷惑施設では無くなってきていると仰いました。ハード面に置いては、こういう状況ですわね。我々ゼロからプラスが入ってくる訳で、基準値より低いですと言われても、ここに居る住民にとって、害になる物が発生するという考えになってきます。

天理市：それは、そうでは無いとご説明したつもりでございまして・・・。

和爾町：そうじゃなくて、これが出来る事によって化学物質が間違いなく出る訳じゃないですか。

天理市：それは、実際に水蒸気でございまして、お示ししたのが資料3です。

和爾町：ここには、基準値が抑えられていますよというデータですよ。

天理市：そうではなくて、実際に丹波市で吸っている空気です。クリーンプラザふじみから有害物質がもし出ているという事になれば、その数値が最も高く200m離れた所になれば、600m離れた所になれば、少し数値が下がり、そして1,500m離れた所になれば、更に下がるという事になるはずで、そこに差が無いわけでございます。

和爾町：だけどこの排ガスの状況というのがありますが、それ以外にも、車の排ガス、この辺の和爾町の周辺としては・・・。

天理市：車の排ガスとしては、確かにそうです。それを言い始めると、名阪が目の前を走っておりますので・・・。

和爾町：じゃあ無くて、その分プラスになる訳で、だけど建ったという事になれば、その分プラスαになりますね。

天理市：クリーンセンターから、そういう認識はしていませんけど、仰られるようにパッカー車何台か

は、あり得るわけです。

和爾町：だけど、そんな安全と仰っても、事故起こった時に、原発じゃないけど、ああいう事故になった時に、被害を被るのは地域ですよ。そういう事故の事、想定出来ないですけども、迷惑施設というのは、ハード面でクリアされていると言っても、ついて回る物と思うんですよ。

天理市：原発の話は、六総の時にも出たが、原発というのは、放射能を発生して、いざ止まって触れば、物が実際出るんで・・・。

和爾町：例えば、ダイオキシンだって出る可能性あるわけですよ。事故起こった時にね。

天理市：その、テロによって破壊されたとなれば・・・。

和爾町：元々無い所に、こういう物が来る事によって、環境に影響される物、物質が出るという事が、我々は、何ぼクリアやと言っても全く何も出ない状況じゃないか。ハード面で確かにクリアになってきたと思うんですけど、市長が言うように、メンタル面がありますよと、仰ったように思いますが、確かにその通りで、青垣霊園って確か天理市ですよ。その市長が一番得していますよね。北部共同墓地かな。あれ確か天理市で・・・。

天理市：いや・・・。

和爾町：そういう市の絡みで来ていると認識していますけども、南の方では、火葬場あって、尚且つこれが来ると、あまりにも和爾町周辺に迷惑施設が偏っているんですよ。

天理市：何処までを周辺とするかですけども・・・。

和爾町：そら近いですよ。2km圏内です。そういう物来る事によって皆思うのは、迷惑施設だという事で、色んなものがダメージ受けるという認識ある訳です。それは、なぜ和爾周辺に偏って来るのかなーと、天理市民の公平さから言えば、あまりにも不公平じゃないかと、和爾町の住民からすれば。そんなに偏って来る事、もっと天理市の広い意見を、やっていったらいい。これは、いいものは歓迎するけど、迷惑施設だと、どんな説明されても迷惑施設です。数学的には分からないけど、1時間当たり1台通りますと言われても、24時間で割っても1台かどうか。時間帯もばらつきも・・・。

天理市：1日当たり4時間。資源ごみは6時間で。

和爾町：大体偏ってくる事になるけども、そういう事とか見えない事も、私らにも分からない事も沢山あるが、そういう事含めて、迷惑施設というのが何でこの周辺に来ているのって思います。市長が住んでいる所に、こういう施設偏って来たらどうです。歓迎しますか。

天理市：歓迎して下さいとまで、なかなか申し上げ辛いですが、何とか皆さんにご理解を得ていきたい。

その上で、防災面での発電とか、そういう所以外にも何か付加価値を付けていけるんじゃないかと、今後目の前に市のグラウンドもありますけど、住民サービスの点においてもプラスになるような部分も合わせ、考えていければと思っております。誰もが住んでいない場所と言うか、何で和爾町周辺にそんな割を食わなければいけないのかと、お怒りになられると、それに対して、論理的に反論というのが難しいですが、市としては、いずれかになければ成り立たない施設です。その上で、運用その他、財政も含めて考えた時、実現可能性も考えた時、今ここ以外の色々検討してきましたけども、選択がない状況の中で、勿論これ以外に何か地元として、こういう物があればというのを、一緒に考えて行きたいと思っております。どうやねんと言われて、仕方ない、造るのをやめますと云えるかと言うと、それは非常に難しいです。

和爾町：実行計画するための、前提条件、何かありますよね。例えば、住民の承認が必要とか、そういうんですけど、それはどういうものですか。

天理市：賛成の署名とか、そういうのですか。隣地同意とか・・・。

和爾町：実行、建設していくに当たって、説明されていますけども、そういう承認事項とか前提条件ありますよね。地元同意。

天理市：それは、法的には・・・。産業廃棄物処分場とか、そういう物は全て必要になって来るんですけども、じゃあそれがいらぬから、高を括っているんだろうと言われると、そうではないという事で、進め方としては皆さんに色々ご心配になる点もあるだろうし、地域として何かこういうような物があればよりプラス面も出てくるんだけどもというご意見があれば、何とかそれを反映するように一緒に考えていきたいという思いで来させて頂いております。

和爾町：それは、説明聞いて理解出来ています。ここしかない、その説明の仕方を聞いてね、住民として納得できない所、あるんですよ。ここしかないという事、市はメリットある、我々はどんなメリットが何もないですよ。

天理市：大きな災害があった時に、電気が通らないという時、あるいは温水が作れますので、古い施設の郡山の今の焼却の所も、周りは九条公園になって、休日ともなると天理市からも多くの方が公園に行かれます。そこには温水プールがあって多くの方が、お子さんも含め習われているというような形での活用というのは、出来る訳です。今の時点で温水を使った何かというのが直ぐにあるわけではありませんが、それについては、今後皆さんのご意見も伺いながら、目の前にグラウンドもありますんで、その活用の部分も一緒に考えていきたい。県も一緒に考えていくと言っている状況です。勿論クリーンセンターの横の公園なんかで遊びたくないと言うので、九条公園一切行かない人とか、あんな所で泳げるかと言う人もおるかも知れないが・・・。

和爾町：今、その温水プールとか、スポーツ施設とか乗っていますわね。こんなん考えてはるんですけども、果たしてこういうのを造って利用あるのかやねー。今の長柄の所も利用者ほとんどいない。

天理市：市全体の行事なんかで、車が入らないような時もありまして、非常にあそこが使いにくい所としては、子供はなかなか自分で行き辛い、アクセスが悪いので自転車で行こうかと言っても行けませんし、北から車でと言っても・・・、その辺を改修する為にも、今イオンから長柄の公園に向けて、道を造ろうと具体的に県との間で動いております。そういうところは町づくりの中で積極的に活用したいと、実際に市の学校施設の開放とか、やっている所は、むしろいい状況です。場所があれば色々な活動が活発に、場所を造ったから、活動が活発ではないので、それは造り方と、進め方だと思っています。

和爾町：ここは不便な所ですわなー。

天理市：車という事では、渋滞に関わらず、又増えるという意見もありますが、道路状況からすれば恵まれてというよりも、何故この場所がこんなにも恵まれているのかというくらい、整備されている。道路に関して。

和爾町：この場所選定にあたって、災害が起きた時にプラスになると仰いましたが、何故この地を選ばれたのか分からないが、周囲に溜池あるんです。白川池、他に小さな池も、これは農家にとっても命の水です。何であえて溜池の近くに持って来られたのか。災害が起きた時プラスになるという事は、ため池の堤防を強化しながら造るとかいうメリットあるのか。

天理市：資料4に示したとおり、周辺に影響与えない施設だという認識をしている所です。そこに漏れ出す物があるとしたら、それは雨の水のみでございませぬ。溜池があるからとかではないと、今現在も川の傍にあって、大阪湾にまで注いでいる物ですので、その水の近くのこんな物持って来るのは、全く何考えてんのかと言われる施設ではないという事です。

和爾町：赤い線で囲ってある所は、天理教の土地だと、くちなし池は違いますね。北の方にある小さな池は。

天理市：埋め立てようという事ではございませぬ。

和爾町：この溜池は、天水、雨水で溜めた水なんです。これを利用して北側の下の方の耕作者は田んぼ作っているんです。この施設を建てる事によって、水には全く影響ないと・・・。じゃあ、水量に影響はあるのでしょうか。天水がうまくここに溜まってくるかどうか。

天理市：今後の設計等、影響評価の中でどういう流域、勾配からして、ここに溜まっているのか確認を・・・。今、持ち合わせているデータだけでも、実際枯れた時どうなるかという事は検証しないといけないので、ご指導を受けて留意しながら進めて行く必要があると思います。

和爾町：北側にある小さな池、南側にある池も、ここまでの水路がある。親子池やからね。

天理市：焼却施設は高台でございます。この間の部分というのはストックヤードという資源を置いておく所を考えています。その水路の影響等は、ないような形での設計をしないとい・・・。

和爾町：資源ごみを置いておく施設を造るという事ですか。

天理市：ストックヤード、実際には、焼却施設は高台の部分です。

和爾町：そっちで、汚れた水がチョロチョロとこの池に流れ込んで来るんですか。

天理市：ストックヤードに屋根を張らしてもらって・・・。流れていく方向も考えて調整していくというように事として、しかも、調整池の所も水質と、周辺の実際に汚れているかどうか、定期的に水質検査もやった上で、皆様に公表させていただくと。

和爾町：ここは、下の百姓の方が心配されるだろうと思います。かなりきついと思います。上の方の池は、天水100%なんです。ここの高台に物建てるとい事は、おそらく雨水も止められる事になれば、水の補給は。今まで自然に溜まっていた水が遮断されるという事は考えられますわねー。ここら辺をちょっと検討してもらわんなん。

天理市：・・・するんです・・・。

和爾町：口では言えるけど、実際の話、屋根の水は外へ流れて行くはできるやろ。しかし、中に出てくる物は、ストックヤードも掃除するだろうし、当然、調整池作るって言って、浄化しますと言って、当然水流れ込みますよ。

天理市：それは、下を地面のまま染み通るような所へ物を置くかどうかとい・・・。

和爾町：農業している者は、物凄くデリケートです。水は、流域変えてもろたらあかんわな一。

天理市：それはもう・・・。

和爾町：確実になったら、そういう細かい話も出てくる。奈良市の場合も、10年余りごちゃごちゃ揉めていました。普通に心配されるのは、多分大丈夫と市長は仰ったが、大気汚染、水質、土壌、騒音、汚染、地盤沈下というものは、新しい施設、始めの方は無いにしろ、老朽化すれば何ぼか出てくるとか。

天理市：それは、正に環境影響評価で、全て掛かってくる所なので。

和爾町：この施設、30、50年持ったら充分や。半世紀もたさんならあかん訳で、永久的にこの地に着くわけや。市長いる間は何期されるのか分からないけど、実際の話、周辺にハウスなんかは・・・。煙突から出るのは水蒸気やと仰る。ハウスに無い物が着くとか、洗濯物が汚れるとは言わないけ

ども、現実の話ありますね。それは数字で言ったら何処でもある話ですわ。大気でも、車走ったら汚れるという話ですわ。ここにそんな物出来た時に、当然ハウスは汚れとか、そんな話出てきます。さすれば、水蒸気から車の排ガスとか分からないが、それがアセスすると言ってはるが、現実そこへ結びつきます、こういう施設は。

天理市：その思いの中ではという事ですか。

和爾町：それは理論的には、行かない部分ですけど、例えば、ビニールハウスのビニール、1年で交換します。家の下の方にハウス2棟あるが、汚れが全然違うんです。車の排気ガスによって。だから車増えるという事は、車の排ガスが増えるという事。その中で作っている作物の日照とかに影響してくる可能性あるという事。

天理市：車が増えるという点については、名阪通る膨大な数を考えれば・・・。

和爾町：ただ、それによって、少しでも増えるという事は、汚れが付きやすくなる。その排気ガスの量が多少増える。1台でも増えれば。

天理市：それは物理的に否定できません。

和爾町：その辺の所も、留意して欲しい。白川池は、直接何も無いんですか。

天理市：そうですねー、白川池には・・・。

和爾町：流れ込まないか、何もないのか。

天理市：白川の下手というか

和爾町：檜川流域から、当然下には、檜に影響出てくるわなー。檜だけでいかんわなー。

天理市：雨以外の物というのは、全て管か何かになっています。

和爾町：これはシャープには話していますの。もうシャープも段々減って行くというような話聞いていますが。

天理市：これからでございます。それこそ、順番の難しい所ですけど、地元と言う前にシャープに行ったのかとなりますので、それは地元にご説明した上でシャープという順番を考えております。

和爾町：白川池に本当に影響ないんですか。

天理市：雨にしても、下手になりますし、ただ、ここの中の水は循環して、使っている水は下水に流し

ますので、白川池に影響というのは……。ここは、ブナ林で蓄えられている、涵養された水が、地下水でとかになってくれば……。そうなんですけども、今現在が造成されている場所ですので、そこも含めて、しっかり影響評価の設計をやった上で、その結果を公表させて頂いて、実際にそれと違うという事になれば、これは法的に動かす事が出来ない。

和爾町：この中で、広域の話、仮定の話やけど色々、BとC 2つの町を入れ込んだ時150 tの炉、どこかの市1つ入れたら230 tという事、最大で360 tの炉の処理能力必要やと、日処理量やねー、凄いやな。

天理市：24時間動いているので、24時間で360 tです。今は220 tですけど、実際月ヶ瀬は奈良市へ編入された経緯と、ごみ量自体、分別化が進んで、かなり減っています。220 tの炉で、片炉運転110 tの炉でほぼ運転しています。

和爾町：今、造ろうしているのは360 t。

天理市：一番大きくなれば。

和爾町：その市というのは、口滑らしたんかしらんけど、高田の話やろ。

天理市：滑ったというか、皆さんの前で正直に申し上げたと、紙で回っていくと勝手に言うなとなるのでという事です。

和爾町：飛びついてきよるで。

天理市：今のごみの量で積算していますけど。

和爾町：車の量とかね

天理市：それは、バラバラ持って来ないという事で提示するとか、きちっと積み替えて来るとというのが条件です。行政面から申し上げると、うちだけが丸抱えと言うよりも、ある程度しっかりした所とやった方が、管理も含め、体制も整う所で、ただ、奈良県の中でも、高田、天理は決して小さなものではないんですけども、人口規模からいっても、共に7万弱です。大阪なんかから見ますと、小さな市という事になって参ります。例えば、豊中は525 tのものでございます。

和爾町：最大のものやったら、人口20万は超えるやろ。

天理市：27万ですね。

和爾町：奈良市はどうですか。

天理市：奈良市は30万位です。

和爾町：12,400㎡で、そんなん出来るのかなー。

天理市：それは、炉の大きさによって・・・。

和爾町：今、炉だけという話やけど、友好的にしていたら、これもあったわと、だんだん広くなって、こんなンダーっとなってくるのと違うのか。一部組合作らはんねやろ。

天理市：事務組合で、条件設定した上で、合意出来るかどうかという事で。

和爾町：何ぼか市町村一緒になれるかして、7万の想定で220tか知らんけど、炉造って、ところが他の町も含んで、ストックヤードとか、色んな関連的なものが出てきたら、そんな規模なってきたら、とても、そんなん・・・もっと北へ広げようかとか・・・。

天理市：駐車場関係の所、確保しなければと、最大の場合の話なんです。ただ天理がイニシアチブを持った話になって参りますので、いらんものはいらんと言える、誰かに強制されるというのが無いわけです。

和爾町：進んでしまったら、そういうわけにいかない。力関係出てくる。

天理市：力関係では、うちが一番有利です。

和爾町：炉の規模、書いてあるけども単位は。

天理市：トンです。焼却炉の重量です。1日24時間燃やす量、処理能力量です。

和爾町：他市町村の分は、業者、個人分ここに入っていないのやね。

天理市：そこは調整と、基本はそのように思っている。

和爾町：個人まで、他市町村が、道4ルートあると言いながら・・・。

天理市：天理市は個人個人やってます。三宅はないです。川西町は事業系のごみは許可制をひいてあるので、1日1から2台は業者のごみが入ります。それと川西町は自分の所で直接収集しているので、そのパッカー車とこれに2台位入ります。それ以外の三宅、山添については、ほとんど個人で一端持って来られても、それは役所へ直接持ち込みますよという紙を貰ってしか持ち込めない。

和爾町：想定された4ルート以外、和爾の町中を通らない訳ですけど、個人がそういう形でバラバラ持ってきた場合、通る可能性あるという事ですね。

天理市：個人が持ち込むという場合は、事務組合入る時の条件になりますし、西から名阪通って来た場合に、あえて和爾を通るという事は考えにくいかなと・・・。

和爾町：・・・許可業者みたいな、誰名阪通るの。それは、他市町村の場合でしょ。今言ったように天理市の人は、和爾からの西の人であれば、ここ通って来る事は考えられますね。個人でね・・・。

天理市：私は今、田井庄に住んでいますが、養徳院の所から来るルートしか想定出来ません。

和爾町：ほぼそれで、固定されてるんだったらいいんですけども。個人だから、固定出来ない所あると思います。

天理市：白川ダムとかに行く時に、和爾の中を通らないと行けない町というのは、和爾と檜とかはあると思いますが。県営だとしても、そのまま旧街道というよりは蔵之庄の方から回ると思いますし。

和爾町：普通は、そういうルートですね。最短は、こう抜けてきたら早いからねー。白川橋の交差点から、和爾の下の方通って、これは多分あると思います。

天理市：それが今のクリーンセンター持ち込み、日量80台です。そんなに皆がバンバン来て、持ち込み車両が渋滞になってるのは、ご覧にならないと思います。

和爾町：年末の時だけ。

天理市：年末の1から2日だけ、それ以外は並ぶという事はあまり無い。

和爾町：和爾の道、非常に狭い。白川ダムの釣りの人、軽四同士対向して、いっぱいいっぱいの状況の道があるんです。そういうので天理の大きい車、ごみ以外の来ても・・・。

天理市：信号の話、六総でもしたんです。当然交通量が変わるとしたら、警察ですし、交通量が増えてくるとかの状況になれば東通りなんかも、極めて不便な話ですけども、方向規制もあるわけで、こちらの方も、市の行政としても調整して行かないと・・・。

和爾町：大型車両は、絶対対向出来ません。農業している軽トラの人もバックするか何かしてる。4ルートをしっかり守って、個人の分、どこら辺まで制限出来るかと、行政も難しいと思うんですけど。先程、造成工事ほとんど無いと言ってたけども、逆に破碎の所では、造成工事あるわけですねー。北側ですね、そこは造成あるわけですね。

天理市：一部ある。

和爾町：造成工事が無いという事で、工事費が・・・と言ってたが・・・。それと、調整池という理由

が意味分かってます。要するにそこへ貯めて貯留を調整する為の、流す為の抑制する施設です。当然その水は何処へ流れるかといったら、川へ流れるんです。例えば、ストックヤードで雨降ってきますよね、屋根が掛かってる。でも、雨は地面を伝ってごみを浸食していく訳ですね。ごみの中に入って行くわけですね。屋根があって水がどこかへ流れて行くわけですね。ストックヤードにごみを置いておくんですね。

天理市：それは、そうです。

和爾町：分離される訳ですか。ストックヤードと外との空間とは。

天理市：それは、水が流れ込んで、ごみを通して流れないような形には成るわけです。

和爾町：100%お約束出来ますか。

天理市：それは、そういう形での設計をして行かないといけません。

和爾町：設計は所詮設計ですわ。技術的には無理ですわ。その水は調整池に流すんですわ。そういう懸念皆さん持っておられる訳です。その辺、あまり、賛成という意味合いでは無いんです。そういう事も一番懸念されてるんです。その辺は、ちゃんと説明しないと、調整池の意味合いを市長、担当者の方々、理解されてないと思います。

天理市：だからこそ、調整池も含めて、水質調査もきちっとさせて頂いて、全て公表させて頂くという事を申し上げてる訳でございます。そこに流れてくる時に・・・。

和爾町：例えば、汚染された水が流れてから、どうやって責任取れるんですか。万が一、汚染された水が出た場合、あなた達、どうやって責任取るんですかと私は聞いてるんです。

天理市：それは、元々の。

和爾町：賠償だけで済みませんよ。

天理市：環境影響評価の時に・・・。

和爾町：評価は、評価。現実的な話をして下さい。

天理市：現実と異なった場合は、法的に動かせ無くなるというのが、環境アセスメントという物です。

和爾町：その時には、ストップする訳ですか。稼働しない訳ですか。

天理市：稼働出来ません。

和爾町：それまでの、汚染された物をどうするのか。万が一汚染された時、どうされるんですかと、私、聞いてるんです。

天理市：今現在も、色んな施設あるわけです。

和爾町：分かっていますよ。分かっているけども、ここは皆さん農業されてるんです。皆さん、その水を使って農作物を作ってはる訳ですわ。農作物は水が良くなければ育たないんです。汚染された水は、それが原因になるわけですよ。それをどう考えておられるのか。

天理市：当然それでもし農作物被害出てきたらという事になれば、それは市として、損害賠償となるでしょう。

和爾町：補償して頂けるというお約束ですか。今仰って意味は。

天理市：訴訟になったら、そういう事に成るでしょう。

和爾町：法的に問題なければ、それで終わりという事ですか。それとも人道的に、皆さんに対して補償する訳ですか、どちらですか。

天理市：私が申し上げているのは、そもそも、雨水がごみを通して流れないような設計に成っていくという事です。

和爾町：設計は設計です。現実的な話100%無いわけですよ。

天理市：それを言い始めると、設計というものは、現実と違うと言い始めますと、世の中の物事、進めていく事出来ません。

和爾町：いい返事、無いんじゃないですか。水の事、心配されていると思いますよ。

天理市：その万が一と言われましても、屋根もね。

和爾町：そこに無ければ、こういう問題起きないわけです。

天理市：屋根を覆って、地面に直接触れないような、スットクヤードの形にして、それが地面から湧き出る水が浸透して出てくる所に、きちんごみと地面の間に何らかの物がある場合に、そういう設計は、いくらでも可能でございます。

和爾町：課長、それで行ける。

天理市：設計上は可能です。

和爾町：だから、現実的な話しましょうよと言ってるんです。設計上は可能ですでは、話になりません。

天理市：それは、仰っている意味が分かりません。

和爾町：実際使用されている方、ここで働いてるから、どういうふうに使われるか、みんな分からないですよ。100%、無ければ100%でいい訳です。ある場合、数%でもあれば、皆さん賛成してくれはりません。

天理市：それは、どういった施設があるかという視察も組ませて頂きます。実際動いている最新の施設もあるわけですから。

和爾町：今、例を挙げられて、こういう所にこういう施設と、今日、まだどういう箱物が来るのか分からない、規模も分からないですよ。今後進めていく上で、どういうふうな話になるのか知らないけども。

天理市：それは、進捗と共に、施設説明をやらせて頂きたい。

和爾町：今後も、進めていける。地元での説明をずっと続けて頂けると。

天理市：勿論そうです。進捗がある度に、今こういう状況だと、お話を、私自身も極力来させて頂くと、今日もし設計の段階まで全部持って来たら、構想等の段階までの所でお話を開始しようと。

和爾町：工程表で、今年度の一部事務組合を設立すると書いてある。今、この段階で決まって無くて、何でそんなん出来るんですか。

天理市：どういった物を造るかという事について、これから皆さんと、ずっとお話していき、施設の設計はどうなるのか・・・。

和爾町：私言ってるのは、そんなん違うんですよ。この一部事務組合の施設を、今年にやるという話は、何処の市町村と組むのか、ある程度決まってないとこの工程表には、辿り着けないと思います。

天理市：仰る通りです。

和爾町：全てあなた達が今持っているデータを出してるか、疑問に思う。隠してる物無いですか。市として。

天理市：ございません。

和爾町：無いんですね。そしたらこの工程表では無理ですね。

天理市：可能だと思っています。

和爾町：課長、本当に出来るんですか。これ。

天理市：最速のケースなんです。

和爾町：考えられないと思いますけど。それと許認可の話もありますね。法的な事が済まないと出来ない訳ですやん。住居地域では、出来るんですか、都決されればいらないと言ってたけど、基準法と都市計画法と違うんですよ。ここ黄色ですよ。これ色塗り替えて準工か何かにするんですか。

天理市：いえしません。

和爾町：面積何ぼですか。

天理市：27,000㎡。

和爾町：建物面積です。大体どんな物が持っておられるでしょう。ここまで言いたく無かったが、あなた達、トンチンカンな事、仰ってるから。

天理市：底地で焼却施設で5,000㎡程度を見込んでます。

和爾町：建坪。5,000㎡は何ぼですか。建築面積なり、延べ床面積なり、いくらですか。ある程度、持っておられるでしょ。

天理市：高さが6階建てになるので。

和爾町：面積は、いくら。

天理市：建物の底地で5,000㎡。

和爾町：延べ床面積はと聞いてます。計画されてるんでしょ。今の時点で無い訳ないですやん。

天理市：質問の趣旨は何ですか。

和爾町：第1種住居地域に立地できるんですか。

天理市：都市計画決定すれば出来ます。

和爾町：都決すれば、建築基準法は無視ですか。無視出来ないと思いますが。

天理市：そこまで、ちょっと理解してないですけど。

和爾町：理解して無くて、何でこんな話出来るんですか。都決すれば全てじゃないですよ。

天理市：私共も、県の建設部門とも・・・やってるんで・・・。

和爾町：それでいいと仰るんだったら、いいです。その所、きっちり精査せんとダメだと思います。
市長さん、課長さんも。

天理市：進め方の所で、これを建てるに当たって、可能だという事を建設部門の担当の所と、きちんと調整して行きながら、お話し合いをさせて頂いております。

和爾町：そうですか、分かりました。このスケジュールに乗っ取ってという形で、淡々と事業計画は進んでいる。それくらいやはり水の話にしろ、和爾の地域という性格、デリケートですわ。

天理市：そこは、実際の雨水に対する、溜まりの影響だとか、水路に対して、何かそこに変更が加わらないかという設計のあり方を伺いながら進めて行く為に、こういう機会を継続的に持たせて頂きたいという趣旨です。

和爾町：今回は、第1回の趣旨説明をお聞きするという事で、聞いて直ぐどうこうと言うわけには、当然・・・会で相談しなければなりませんし、又近郊町村とも歩調合わして、検討して行かなければならない。和爾町としては、かなり宮本の民間もありますし、近辺の地域も影響しますので、今後検討していきたい。今日、役員だけの話だし、また住民にも知らせんなん。追って住民説明会にもなっていくと思います。自治会との連携もあるし、市からの情報も貰わないとあかんし、今日は色々意見出た物整理して・・・。

天理市：整理した上で、今後説明会重ねて行く上で、水の所、水質検査等、どういう物なのか、ご説明していかなければならないと思っております。

和爾町：今日は、聞き及んだと。厳しい状況ですわ。

以 上

